

月平均 500mb 天気図。 1988年 7月

(破線は平年からの偏差。 単位m)

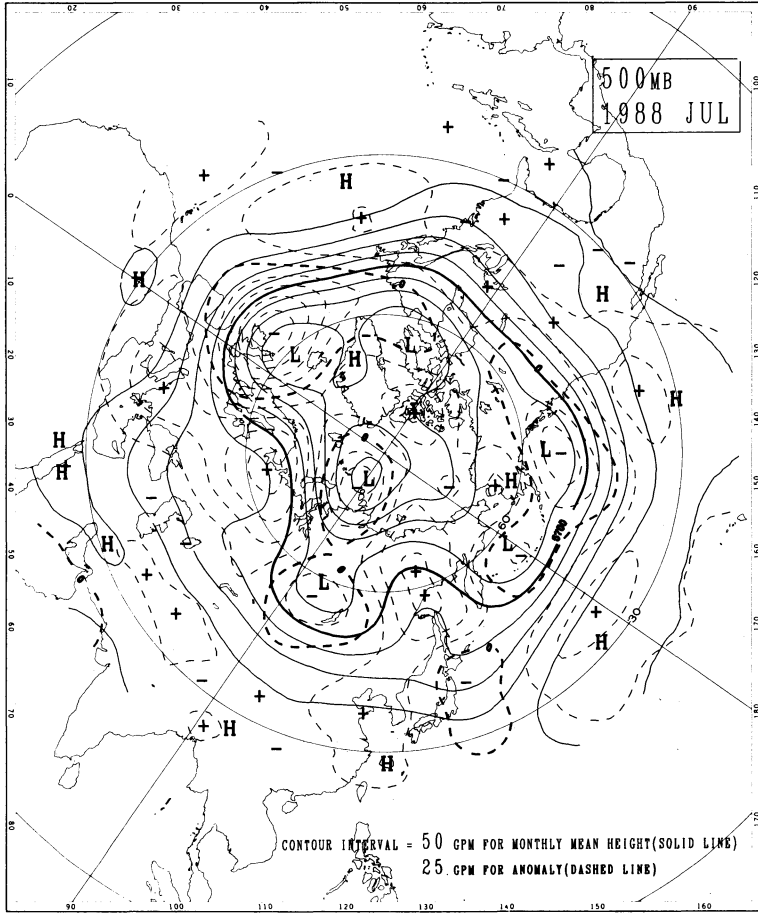


表1 昭和63年 7月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
バリ	17.4	-1.6	-1.1	102	185	5	カサブランカ	22.6	0.1	0.1	0	—	3
ベルリン	19.0	-0.4	-0.3	69	103	3	ニオロドサヘル	30.1	0.6	1.2	94	60	1
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	12.7	2.4	2.0	2	20	4
アテネ	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	17.6	0.0	0.0	22	85	2
モスクワ	21.6	2.6	1.4	47	64	—	ニューオリンズ	27.6	0.3	0.4	172	101	3
オデッサ	23.3	0.9	0.6	142	418	—	セントルイス	27.6	1.2	0.8	77	92	3
ニューデリー	—	—	—	—	—	—	サンフランシスコ	18.5	1.4	1.0	0	—	3
カルカッタ	—	—	—	—	—	—	ニューヨーク	25.9	1.0	0.9	215	229	5
ボンベイ	29.1	1.6	4.0	834	118	4	マナウス	26.4	-0.5	-1.0	86	141	5
ホンコン	29.0	0.6	1.2	327	114	3	リオデジャネイロ	19.6	-1.2	-1.2	78	181	5
チャンチュン	23.7	0.8	0.9	148	73	2	ロサリオ	7.8	-2.1	-1.0	31	84	3
ベキン	25.8	-0.2	-0.2	279	142	5	ホノルル	27.6	1.6	1.8	3	27	1
シャンハイ	29.2	1.3	1.2	85	60	2	タヒチ	24.3	0.2	0.4	173	247	5
バンコク	29.1	0.7	1.8	178	100	—	ダーウイン	26.3	1.2	1.3	0	0	4
マニラ	29.8	1.9	3.8	400	158	4	キャンベラ	7.2	1.7	3.4	100	233	5

## 7月の世界の天候

## ① 北日本の低温

7月中旬以降オホーツク海高気圧が出現し、北日本や東日本で根室 $10.1^{\circ}\text{C}$  (平年差 $-4.2^{\circ}\text{C}$ )、仙台 $18.6^{\circ}\text{C}$  (平年差 $-3.6^{\circ}\text{C}$ ) など強い低温となった。

## ② 南西諸島・中国南東部の高温

高気圧に覆われた南西諸島、台湾、中国南東部では、那覇 $29.7^{\circ}\text{C}$  ( $+1.6^{\circ}\text{C}$ )、台北 $30.9^{\circ}\text{C}$  ( $+2.5^{\circ}\text{C}$ ) などの高温となった。中国ではこの暑さで死者が出たと伝えられた。中国のこの地域では少雨による干ばつが懸念されていたが、月の後半に台風などの影響で雨が降った。

## ③ シベリア中部・中国北西部の多雨

中国北西部からシベリア中部にかけてはクラスノヤルスクで気温が $16.1^{\circ}\text{C}$  ( $-2.4^{\circ}\text{C}$ )、降水量が $195\text{mm}$  (平年の2.4倍) となるなど低温多雨で、もともと雨の少ない新疆ウイグル自治区のルオチャンでは月降水量 $51\text{mm}$  (平年の12.8倍) を記録した。

## ④ ヨーロッパ北部の多雨

スウェーデンのカルスタートで月降水量 $165\text{mm}$  (平年の2.8倍) となるなど北欧やイギリスで平年の1~2倍の雨が降った。

## ⑤ 東欧・南欧の高温少雨

イタリア・トルコ、ルーマニアなど東欧・南欧でイス

タンブール $25.1^{\circ}\text{C}$  ( $+2.9^{\circ}\text{C}$ ) などの高温となり、ギリシャなどで暑さによる死者が出たと伝えられた。またこの地域ではブルガリアのソフィアで月降水量 $12\text{mm}$  (平年比20%) などと雨も少なく、ユーゴスラビアでは森林火災の発生が伝えられた。

## ⑥ アメリカ中西部北部の少雨

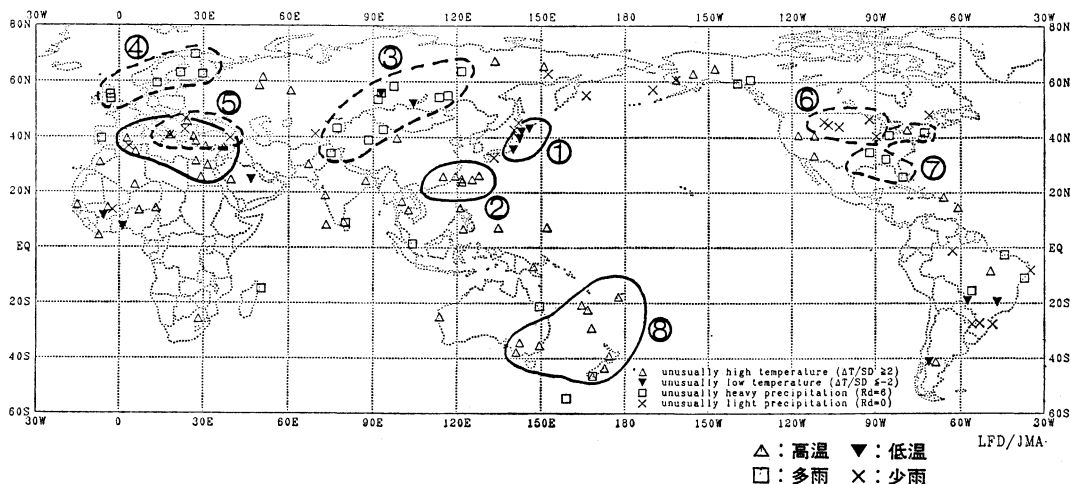
## ⑦ アメリカ南部・北東部の多雨

干ばつの続いていたアメリカは、東部・南部ではノーストリロック $215\text{mm}$  (2.5倍) などの多雨となりメキシコ国境のブラウンズビルでは豪雨でスーパーマーケットが倒壊したと伝えられた。しかし中西部の北部ではミネソタ州ダールズで $29\text{mm}$  (32%) サウスダコタ州ラピッドシティで $10\text{mm}$  (22%) など平年より降水量の少ない状態が続いている。カナダ西部では月前半に雨が降りほぼ平年並の降水量となった。

## ⑧ オセアニアの高温

オーストラリア南東部からニュージーランド、メラネシアにかけての広い範囲でキャンベラ $7.2^{\circ}\text{C}$  ( $+1.7^{\circ}\text{C}$ ) クライストチャーチ $7.7^{\circ}\text{C}$  ( $+2.7^{\circ}\text{C}$ ) などの高温となった。この地域の降水量は平年並からやや多雨の程度だった。

(気象庁長期予報課 小泉 耕)



1988年7月の世界の異常天候分布図  
図中の番号は、本文中の番号と対応している。

1988年7月の気候表の説明

降水階級は、1931—1960年のデータに基づく五分位値。0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。

1988年9月